

みのり NEWS

外部向け情報誌

生活介護・就労B型&グループホームの情報誌

2023
10/11 10・11月号 社会福祉法人みのり福祉会
令和5年9月29日発行

【発行】社会福祉法人みのり福祉会
多機能型支援施設みのり・グループホーム

<本部>
〒350-1305
埼玉県狭山市入間川 3273-23
TEL: 04-2954-8566
FAX: 04-2954-2646
e-mail: t-minori@bell.ocn.ne.jp
HP: <http://www.minori-fukushi.or.jp/>

ホームページはこちらから！
ブログも随時更新中！



あおぞらいちはば くぼくはくま

「ぼくはくま」2006年NHKみんなのうたで放送された、宇多田ヒカルの名曲です。

変則のメロディーに乗って言葉を繰り返し、差し込んで、寂しさと郷愁がある素晴らしい歌です。歌詞は不可解な部分もあり、解釈や意味を掘り下げている投稿も見られますが、この歌を聴くと言葉がメロディーと一体化し、自分の中の気持ちを呼び起こしてくれたり、そっと寝かしつけてくれたり、不思議に心が音の中に吸い込まれる音楽です。

キャンプなどで自然の中にいると、風の音や木々の葉がする音、川のせせらぎ、鳥のさえずりなどたくさんの音に包まれ、座っている空間と音が調和し、溶け込むことができます。海でも波の音は常に不均一で繰り返し訪れ、波の形はたえず変化するので、堤防に座ってボーっとすることができます。

「ぼくはくま」は繰り返す音や曲を日常の環境の中で音楽として聴くので、日常の気持ちが入り出します。

自然の音は非日常の中で常にそこに存在する音なので、溶け込んでしまうかもしれません。

音楽の中に心が吸い込まれたり、(自然の)音の中に心が解き放たれたりすることは幸せなものです。

私たちの施設にも、音はたくさんあります。普段接する利用者さんへの「話しかけ方」「声のトーンや強弱」「言葉の長さ」等、会話を音楽と捉えると、相手に伝わるメロディー、気持ちが動く歌詞がきっとあり、その楽曲を提供することが支援員の役割です。

パンクロックで気持ちを上げ、ラップミュージックでリズムを刻み、「ぼくはくま」で共に静かに過ごす、こんな“時間”的大切さを感じていきたいと思います。

理事長 坂本光雄



Amazon 狹山日高 FC のイベントに出店しました！

7月14日(金)に、Amazonジャパン狭山日高FCにて出店販売と、イベント用配布物の提供を行いました！

みのりの中ではイベントに向け、クッキーの製造でとてもたくさんの方にお手伝いいただきました。

当日も何名かの利用者さんに販売のお手伝いいただきました。ご協力ありがとうございました！



~秋の味覚~ サツマイモの おさつスティックのレシピ

材料

- ・さつまいも 1本 (約250g)
- ・砂糖 小さじ1
- ・塩 ひとつまみ
- ・油 適量

作り方

①さつまいもを切る

さつまいもはよく洗い、皮が付いたまま厚さ1cmほどのスティック状に切ります。

②水を入れたボウルにさつまいもを10分ほどつけておいたら、ザルにあけてキッチンペーパー等で水分を取ります。

③フライパンに油を高さ0.5mmほど入れ、さつまいもを加えて中火にかけます。時々かき混ぜながら、こんがりと色がつくまで8分ほどじっくりと揚げ焼きします。

④取り出して油を切り、さつまいもが温かいうちに砂糖と塩をまぶしたらできあがりです。

みのり祭に向けて
サツマイモを沢山
作っています！



X(旧Twitter)をはじめました